



やまてっこ

No.8

令和5年7月19日

学校教育目標**ふるさとを愛し、
心豊かにたくましく生きるやまてっこ****1学期を振り返って・・・**4月 「あいさつ」 5月 「責任」
6月 「思いやり」 7月 「正直」**夏休み中も継続して取り組みましょう。**

平素から本校の教育活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。

1学期の終業式を迎えることができました。1学期を振り返ってみますと、山手小に来校された方が、子どもたちの活動ぶりを見て、「よく、あいさつができますね」「落ち着いて勉強していますね」などとほめていただくことが多くなりました。私が、校内を歩いていても、「校長先生、こんにちは」と進んであいさしたり、会釈をしたりすることがよくできています。「**相手を意識しながら**」共に生活できているやまてっこを見ていて、とてもうれしく思います。

子どもたちは、今日「通知表」を持ち帰っています。「通知表」は、学校教育目標の実現に向けて、子どもたちの学びの評価と学校生活の様子を学校から家庭に伝えていくとても大切なものです。「通知表」を見ながら1学期を振り返り、子どもたちの励みやさらなる学習意欲につながっていくことを願っています。なお昨年度までは、体力テストの結果もこのタイミングでお伝えしておりましたが、集計の関係で、2学期以降となりますのでご理解ください。

何かお気づきの点がありましたら、学校にご連絡ください。個別懇談でも話題としますので、どうぞよろしくお願ひします。

夏休みの学びにつきましては、子どもたちに「わからないことがあったらどうするの」と問いかけてみてください。授業では、先生や友達に質問しながら学ぶことができます。家庭でとなるとわからない時に、保護者のみなさんに質問することもあると思います。その際、質問して調べようとしていることをほめながら、できれば「教科書を読んでみたら」とか「教科書のどこにあるの」と伝えてみてください。3年生以上であれば、情報端末を使って調べる子どももいると思います。まだ、教科書を見て調べるということは、難しい場合もあると思います。わからないことやできないことを自分で調べようとする態度は、今後大切にしていきたい学びの習慣です。最終的には、自ら学ぶことができる「やまてっこ」をめざしています。この夏休みは、大きなチャンスです。例えば、「調べた結果、わからなかった」となったとしてもそれで構いません。子どもたちにとって、自分と向き合う（自分の現状を知る、課題をつかむ）ことにつながります。

学んだことを確実に定着させるためには、たとえ「調べた結果、わからなかった」という経験も、その後の「わかった」「できた」につながっていくとても貴重な経験です。**「わからないことを、自ら教科書等で調べみる」という習慣を、どの子にも身に付けてほしいと願っています。**

今年は、3年間の感染症等の制約から解放された夏休みを、一人一人の健康と安全に十分注意しながら、しっかり楽しんでほしいと思います。

学校だよりは、山手小学校ホームページにも掲載しております。